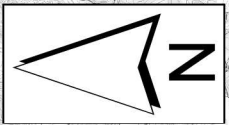


名取川水系坪沼川、支倉川および沢戸川 洪水想定区域図 (想定最大規模)



1. 説明文

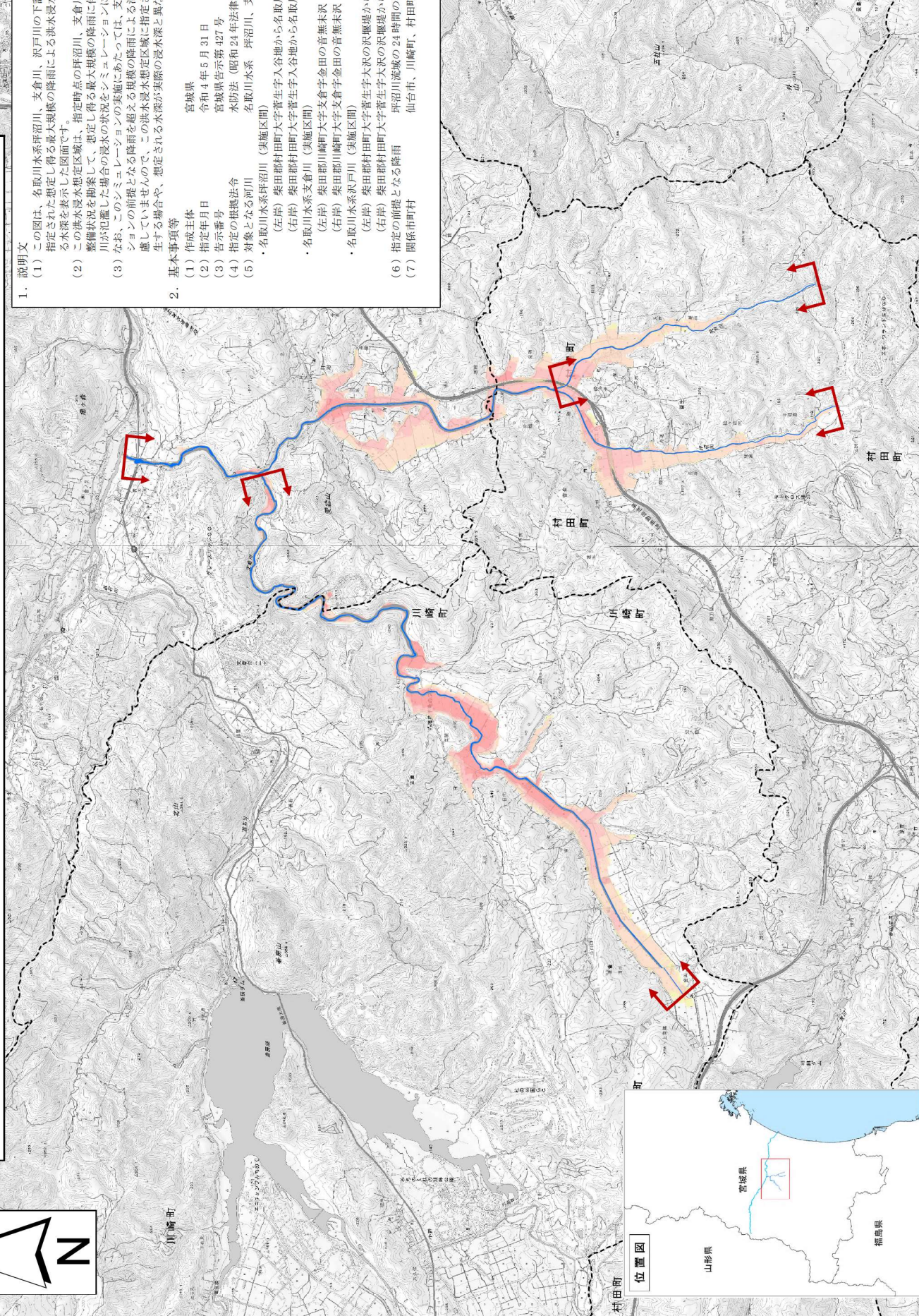
- (1) この図は、名取川水系坪沼川、支倉川、沢戸川の下記区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の降雨に伴う洪水により坪沼川、支倉川、沢戸川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- ## 2. 基本事項等
- (1) 作成主体
宮城県
令和4年5月31日
 - (2) 指定年月日
宮城県告示第427号
 - (3) 告示番号
水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 - (4) 指定の根拠法令
名取川水系
坪沼川、支倉川、沢戸川
 - (5) 対象となる河川
・名取川水系坪沼川(実施区間)
・名取川水系支倉川(実施区間)
・名取川水系沢戸川(実施区間)
 - (6) 指定の前提となる降雨
坪沼川流域の24時間の総雨量734.2mm
 - (7) 関係市町村
仙台市、川崎町、村田町

凡例

浸水した場合に想定される水深(深さ)の区域

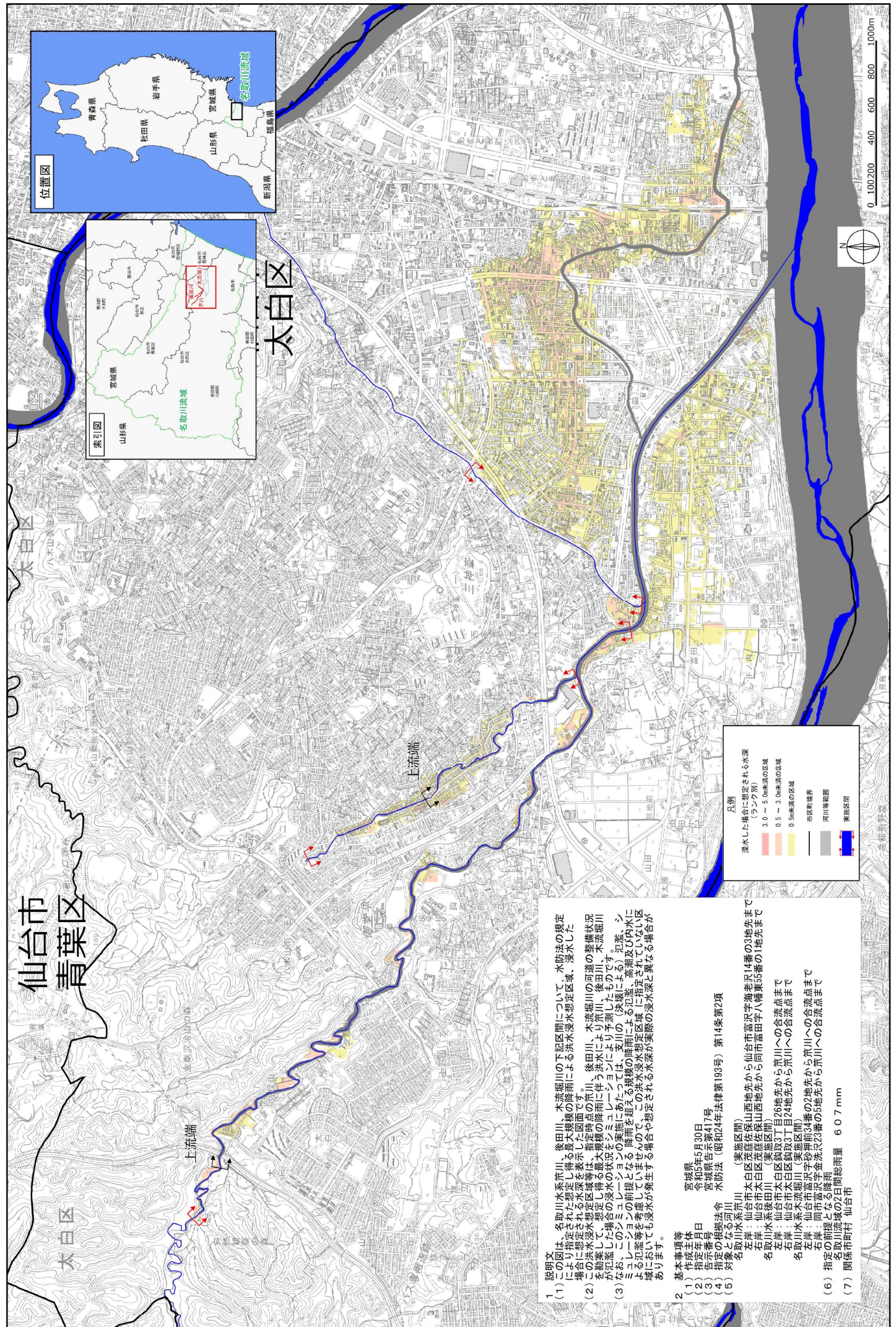
- 0.0~0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域

対象河川
河川等範囲
市区町村界



〔測量法に基づき国土院院長裁(使用)R3.4.14〕

名取川水系策川、後田川、木流堀川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



仙台市
青葉区

太白区

上流端

上流端

1 説明文
 (1) この図は、名取川水系策川、後田川、木流堀川の下記区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域図である。この図は、指定された区域に浸水した場合に想定される浸水深さを示している。浸水深さは、指定された区域の地形、河川の状況、降雨の状況等を考慮して算出されたものである。浸水深さは、指定された区域の地形、河川の状況、降雨の状況等を考慮して算出されたものである。浸水深さは、指定された区域の地形、河川の状況、降雨の状況等を考慮して算出されたものである。
 (2) 指定された区域は、策川、後田川、木流堀川の河道の整備状況、河川の状況等を考慮して算出されたものである。浸水深さは、指定された区域の地形、河川の状況、降雨の状況等を考慮して算出されたものである。
 (3) なお、この図は、指定された区域の浸水深さを示している。浸水深さは、指定された区域の地形、河川の状況、降雨の状況等を考慮して算出されたものである。浸水深さは、指定された区域の地形、河川の状況、降雨の状況等を考慮して算出されたものである。浸水深さは、指定された区域の地形、河川の状況、降雨の状況等を考慮して算出されたものである。

2 基本事項等
 (1) 作成日 令和5年5月30日
 (2) 指定区域 宮城県仙台市太白区
 (3) 指定区域 策川、後田川、木流堀川
 (4) 指定区域 策川、後田川、木流堀川
 (5) 指定区域 策川、後田川、木流堀川

3 指定区域の名称
 (1) 策川、後田川、木流堀川
 (2) 策川、後田川、木流堀川
 (3) 策川、後田川、木流堀川
 (4) 策川、後田川、木流堀川
 (5) 策川、後田川、木流堀川

4 指定区域の面積
 (1) 策川、後田川、木流堀川
 (2) 策川、後田川、木流堀川
 (3) 策川、後田川、木流堀川
 (4) 策川、後田川、木流堀川
 (5) 策川、後田川、木流堀川

5 指定区域の人口
 (1) 策川、後田川、木流堀川
 (2) 策川、後田川、木流堀川
 (3) 策川、後田川、木流堀川
 (4) 策川、後田川、木流堀川
 (5) 策川、後田川、木流堀川

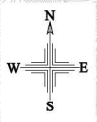
6 指定区域の人口
 (1) 策川、後田川、木流堀川
 (2) 策川、後田川、木流堀川
 (3) 策川、後田川、木流堀川
 (4) 策川、後田川、木流堀川
 (5) 策川、後田川、木流堀川

7 関係市町村 仙台市

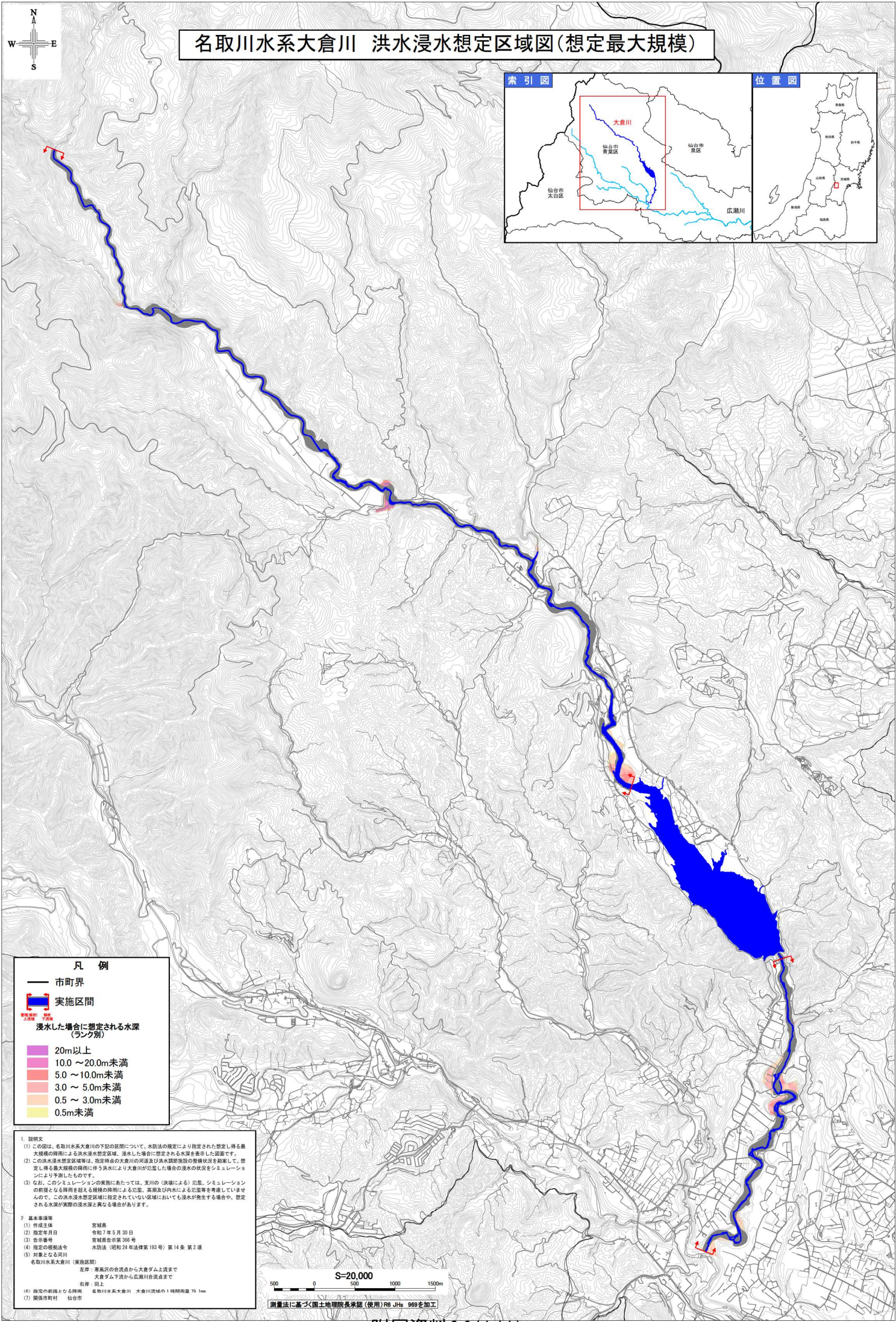
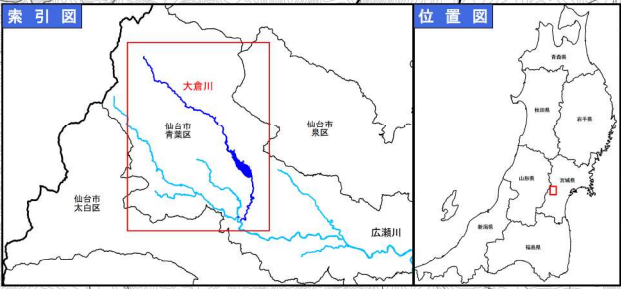
凡例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)	3.0 ~ 5.0m水深の区域
	0.5 ~ 3.0m水深の区域
	0.5m未満の区域
	市界町界
	河川等範囲
	実地範囲

「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地図250000を使用した。(承認番号 R. 4Hs 787)」



名取川水系大倉川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



凡例

— 市町界

実施区間

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

- 20m以上
- 10.0 ~ 20.0m未満
- 5.0 ~ 10.0m未満
- 3.0 ~ 5.0m未満
- 0.5 ~ 3.0m未満
- 0.5m未満

1. 説明文
- (1) この図は、名取川水系大倉川の下記の区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域等は、指定時点の大倉川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により大倉川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前段となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
- | | |
|-------------|--------------------------|
| (1) 作成主体 | 宮城県 |
| (2) 指定年月日 | 令和7年5月30日 |
| (3) 告示番号 | 宮城県告示第306号 |
| (4) 指定の根拠法令 | 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項 |
| (5) 対象となる河川 | 名取川水系大倉川(実施区間) |
- 名称： 栗原町の合流点から大倉ダム上流まで
大倉ダム下流から広瀬川合流点まで
- 右岸： 同上
- (6) 指定の前段となる降雨 名取川水系大倉川 大倉川流域の1時間雨量 70 mm
- (7) 関係市町村 仙台市

S=20,000

0 500 1000 1500m

測量法に基づく国土地理院長承継(使用)R6 JHs 999を加工